

令和6年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	38	学校名	八百津高等学校
------	----	-----	---------

学校教育目標 (教育方針)	21世紀の社会を担うのに必要な、自律の精神、実践を伴う行動力、創造性豊かな人間性の育成		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自律：自分の可能性を見つけ、目標に向かって継続的に努力することで自己肯定感を醸成し、自らの意志で適切な判断や行動ができる生徒 ・ 実践：自分を信じ、困難を恐れなくて校内外の様々な教育活動に積極的に挑戦・努力し、3年間の高校生活で「健やかな体」と「確かな学力」を培い、卒業時には「自分を変えることができた」と実感できる生徒 ・ 創造：自分の挑戦と努力で培った力を、さらにいろいろな人と共に高め合い、認め合いながら、力を合わせて社会の一員として社会に貢献し、ふるさとを愛しふるさとの未来のために自らの夢を創造できる「地域社会人」となり得る生徒 	
	生徒をどう 育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な進路志望に応えられるカリキュラムの編成と体系的なキャリア教育を推進するとともに、「連携型中高一貫教育」や「デュアル・システム『企業実習』」を始めとする地域と連携した学びを通じた体験と実践を伴う探究的な学びの推進 ・ 学び直しや学びを高めるための習熟度別授業や少人数授業を多く開講し、小規模校だからこそできる個々の生徒に寄り添ったきめ細かな支援の実施 ・ ICT機器を活用し、理解しやすい効果的な授業を展開するとともに、主体的・協働的・探究的な学びを通じたコミュニケーション能力と発信力の育成 	
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣が身につけており、高校に入っても社会や学校のルールを守って落ち着いた生活を送ることができる生徒 ・ 中学校での学びを基礎からもう一度学び直そうという気持ちが強く、入学後も継続的に学び続けるとともに、部活動、生徒会活動やボランティア活動に積極的に参加しリーダーシップを発揮することで「自分を変えよう」という向上心が強い生徒 ・ 地域社会が有する諸課題に対して興味を持ち、仲間とともに様々な活動を通して地域の活性化に貢献することを志す生徒 	

学校の抱える課題	<p>【学習支援】基礎学力の定着及びさらなる主体的な学習態度の育成が課題である。</p> <p>【生徒支援】高校生としてのマナーや社会規範を守る意識が希薄な生徒に対する指導方法が課題である。</p> <p>【進路支援】進学も就職も受け身の生徒が増えている現状を踏まえ、どこまで意識を持たせることができ個別支援できるかが課題である。</p> <p>【デュアルシステム】実習に向かう生徒の意識にバラつきがあり、学校での指導の中で実習に対する連帯感を高めることが課題である。</p> <p>【連携型中高一貫教育】本校への志望者数は微増にとどまっている現状をいかに増加にすることが課題である。</p>		
----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学校経営	コミュニティスクールとして地域と連携した教育の充実	
	学習指導	基礎学力の定着及び主体的な学習態度の育成	
	生徒指導	基本的な生活習慣の確立を目指す	
	進路指導	進路希望実現のための支援の充実	

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域 分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興基本計画で の位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学校経営	連携型中高一貫教育の活性化、全職員が6年間を見通した指導を図るとともに、地域の教育力を生かした学習活動を展開します。	4	施策 I-4	中高連携校長会議及びコーディネーター会議での反省、学校評価アンケート			
	教職員の働き方改革の実践、管理職が職場の意識改革に努めます。	27	施策 IV-27	時間外労働時間、ストレスチェックの結果			
	教職員の資質向上、研修主事を中心とした校内研修の充実を図っていきたい。	26	施策 IV-26	職員の研修評価アンケート			

学習指導	生徒の実態に合った授業、互いに認め合う活動を通してコミュニケーション能力や自己表現力の向上を図り、自己肯定感や自己有用感を高くみながら、生徒自らが学ぶ姿勢を身につけられるように努めます。	1	施策 I-1	生徒による授業評価				
	学習効果を高める指導法の研究、生徒の実態に合った授業を目指し「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実のため、授業公開週間を設け、授業計画や内容・指導方法について、教員間による授業研究を通して改善に努めます。	8	施策 II-8	公開授業週間における参観者評価				
	関係機関と連携し、総合的な探究の時間の充実やふるさと教育の推進によって課題解決のために必要な判断力や行動力等を育成していきたい。	12	施策 II-12	学校運営協議会等の評価				
生徒指導	全体指導、個人指導を通して基本的な生活習慣、望ましい生活態度を確立する支援を行い性的マイノリティに関する偏見や差別の解消、DV 根絶などを図るため家庭と連携します。	2	施策 I-2	学校評価アンケート				
	生徒理解に努め、生徒に寄り添った支援を行い、いじめの未然防止や不登校の支援に向け。安心できる学校環境、雰囲気づくりを推進するとともにスクールカウンセラーやスクール相談員等の専門家を活用した教育相談のさらなる充実を図り、組織対応を強化します。	3	施策 I-3	いじめアンケート、こころのアンケート				
	家庭と学校とが一体となった生徒支援に努めるため5月の保護者懇談、夏と冬の三者懇談だけでなく日頃から家庭との連絡を密とした支援を行い、青少年が巻き込まれる犯罪をはじめ複雑化する様々なトラブルに対応するため、啓発強化を行い、学校運営協議会と地域と学校とが連携した子どもたちの育成を図ります。	7	施策 I-7	学校運営協議会の評価、学校評価アンケート				

進路指導	進学支援（補習・個別指導）と就職支援（求人確保・社会人教育等）わかりやすいガイダンスを実施し、広い視野を持って進路決定をする意識を高めます。また経済的な理由等により就学が困難な生徒等に対する各種奨学金の貸付等についても丁寧に説明をしていきます。	23	施策Ⅳ-23	学校評価アンケート 外部模試・進路先の結果				
	キャリア教育の充実のため、個別のキャリアファイルを活用し、自己実現に向けた個別の努力・足跡を蓄積することでキャリア意識を高められるように努め、本校でのデュアルシステムの充実、地域企業での継続した就業体験活動や実践的な活動により社会的・職業的自立をめざします。	13	施策Ⅱ-13	学校評価アンケート 生徒による各種アンケート、実習先企業の評価、生徒の意識の向上				
	進路実現に向け、将来を見据えた魅力ある学校づくりの推進として一層の特色化・魅力化を図るための方向性を検討します。	20	施策Ⅳ-20	学校運営協議会での意見と評価				

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和7年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和7年 月 日

--

--